

- 2 年頭所感 (矢島 稔)
- 3 平成 30 年度 愛鳥週間用ポスター原画コンクール入賞者発表!
- 4 タンチョウの現在・過去・未来 (河瀬 幸)
- 7 日本鳥学会 2017 年度大会において発表を行いました (連盟 調査研究室)
- 8 フィリピン共和国における保全活動 (連盟 調査研究室)
- 10 生きもののつながり 生きものピラミッド
冬のヒバリは何してる? (松永聡美)
- 12 生きもののつながり 生きものピラミッド
エノコログサと、仲良しになりませんか! (杉崎光明)
- 14 平成 30 年度 愛鳥週間用ポスター原画コンクール入賞作品
- 16 東北のクマゲラの現状 (藤井忠志)
- 20 支部活動紹介 富山県支部
ロシアとの渡り鳥共同調査 20 周年を迎えて (湯浅純孝)
- 22 支部会議の開催 (連盟 事務局)
-
- 23 連盟だより
- 23 インフォメーション
- 24 使用済み切手・カード類提供のお願い/商品の注文について/バックナンバーの提供について/会費の有効期限の見方/広告募集/編集後記

ネイチャーフォト

カメムシの越冬 (伊藤信男)、雪の妖精シマエナガ (江口欣照)、
ものまねの木<21> (杉崎光明)

表紙のことば

藤井忠志 (NPO 法人 本州産クマゲラ研究会 理事長)

営巣地に飛来したクマゲラみ (1991 年 6 月、白神山地にて撮影)

1991 年は白神山地において、同時期に 3 箇所繁殖活動が行われた。白神山地が世界自然遺産になる 2 年前のことであるが、保護か? 開発か? で揺れ動いていた白神に、希望の光が見えたことはいうまでもない。